柔道指導者資格付与制度開始

平成23年4月22日の全日本柔道連盟理事会と評議員会において 平成25年度(2013年)から指導者資格付与制度を開始することが承認された。

これまで柔道の指導者には20歳以上で有段者であればだれでも登録することができたが、柔道指導者の指導力向上を図り、社会的信用を高め、地位を保証するなどのため、指導者資格の厳格化が求められていた。

五段以上に受験資格があるAから参段以上のCまでの3つの区分を新設予定で、大会の格付けによって指導者に必要な資格も異なる。ただし、学校の部活動などについては別途例外を設ける予定である。

資格の取得には講習会の受講と審査試験が必要である。ただし、移行期間においては今年度から来年度9月末までに全国で実施される講習会を受講後、全柔連の審査を受け、審査委員会によって認定される。

詳細は以下の通りである。

柔道指導者資格付与制度

平成23年4月22日現在
(理事会・評議員会承認)

指導者資格とは? 指導者の指導力向上を図り，社会的信用を高め，地位を保証するために，平成25年度から柔道指導者資格制度を導入します

どんな種類が? 資格は次の3つの区分にわけます(詳細は検討中)

内容 ＼ 区分	A	B	C
レベル	全国レベルの指導者としての専門的指導力を有する	地区を代表するレベルの専門的指導力を有する	指導に必要な基礎的指導力を有する
大会参加資格	全柔連主催の全国大会で監督	全柔連主催の全国大会の出場権をかけた地区大会での監督(国体は日体協基準を優先)	都道府県大会での監督 ＊AやB指導員の指導下で地区大会以上のコーチ
年齢 段位	24歳以上 五段以上 B取得後2年以上、継続して実務にあること	22歳以上 四段以上 C取得後2年以上、継続して実務にあること	20歳以上 参段以上
年限	※学校課外活動の顧問等については，それぞれの実情を考慮し、別に例外措置を講ずる場合がある		
取得方法	区分に応じ、中央／地区／都道府県の講習会のいずれか(または複数)を受講したのち、資格審査試験を実施		
更新方法	中央／地区／都道府県の講習会のいずれかを2～4年ごとに受講し更新する(検討中)		
日体協指導者資格との関係	コーチ資格等との連携を予定(「専門科目」の免除)		

教えて Q&A

Q1 現在，現場で指導している人はどうなりますか?

移行措置として都道府県からの推薦をもとに暫定的に指導員に認定します。定められた期間に講習会を受講して正式資格を取得してください。また、大会出場の制限も当分は緩める予定です。

Q2 都道府県連盟の役割はどうなりますか?

講習会や資格検定の実施と資格指導員候補者の名簿作成をお願いします。なお、講習会等の経費は受講料等で運営できるように考慮します。

Q3 指導者の経済的負担は増えるのでしょうか?

指導者は毎年の指導者登録費と2～4年ごとの講習会受講費がかかることになります。今後検討しますが，負担増にならないように設定します。

Q4 柔道部の顧問をしてくれと頼まれている教員です。しかし、柔道経験はなく資格をとるつもりもありません。どうすればよいですか?

学校教員に対しては、現場の実情を考慮し、条件付きで資格を認める例外措置を準備しています。

今後のスケジュール

H23年前期	H23年後期	H24年前期	H24年後期	H25年度
資格制度の策定 移行措置講習会の開始	制度の周知	移行措置講習会の終了 審査委員会の設置	「公認指導員」の認定	指導者資格制度の実施

建設機械の世界でも、
「ハイブリッド」が、
あたりまえの言葉に
なりますように。

それは特別なコマツである。見た目は普通の建設機械。実は、ハイブリッドカー。海外で初めて会う人は、みんな驚く。「建設機械なのに、ハイブリッドカー?」と。「世界初」なのだから、それも無理のないこと。2年前、最初の一台が日本で働きはじめ、こうしてお隣の中国にもやってきた。日本発のこの技術が、少しずつ世界に広がっていけばいい。ハイブリッドという言葉が、世界の現場で、あたりまえの言葉になるといい。黙々と働く黄色い車体が、そう言っているようだった。

人のための道具だから。
社会のための道具だから。

KOMATSU HB205 Hybrid

Global Teamwork
KOMATSU

コマツ 〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6
FAX 03-3505-9662
http://www.komatsu.co.jp/

スピーディなサービス提供が
シミズオクトの財産です。

昭和7年(1932年)の創業以来、シミズは時代の変化の対応とともに、業界のスペシャリストとして、多種多様なイベントに携わってきました。その中には、何万人もの会場の警備や、絶対不可能と思われたステージの設計・設営、雨や風や雪の中でのイベントなど、様々な難問に直面しながらも、安心して楽しんでいただけるよう、一つ一つの問題点を確実にクリアしてきました。これらの数え切れないほどの経験は今、イベントをまるごとサポートする「シミズオクト」の貴重な財産として、よりスピーディなサービスの提供とともに活かされ続けています。

株式会社 シミズオクト
本社／03-3360-7051
●イベント運営管理●建物総合管理
●警備業務●広告物設計施工
●美術装置・仮設舞台・客席等設計製作
http://www.shimizu-group.co.jp